

式 辞

広々とした天蓋がぐるりと地平線と接する様が見渡せ、石狩平野の広がりを感じさせる北都の地に、さあ、もう一歩先へと、人々の背中を押すような力強い春風が吹き寄せる今日のこの佳き日に、多くのご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、北海道札幌厚別高等学校第36回入学式を挙げてきましたことに、まずもって、本校教職員一同、深く感謝申し上げます。

ただいま本校への入学を許可いたしました280名の生徒諸君、そして保護者の皆様、ご入学、おめでとうございます。

本日から、本校での高校生活がスタートするわけですが、新入生の皆さんには、3年後の目標をあらかじめお話ししておきます。

本校の学校教育目標は「健康で、心豊かな人間、意欲的に学び、自ら実践する人間、生活を自ら律し、けじめある人間」の育成を目指すこととされております。

しかしながら、これから先の、私たち大人が想像もできないような激しい時代の変化に直面しても、自らの在り方、生き方を貫き、常に自らを鍛え、仲間とともに課題を乗り越えていけるような具体的な資質・能力の育成が求められております。

学習によって蓄えた多くの知識や技能を、様々な体験を通して考え、判断しながら活用し、よりよい人間関係や社会、豊かな文化を創り出していく力、本校では、その力を「創る力」として重視します。

土塊から青々とした野菜を作り出すように、原木から仏像を掘り出すように、真っ白なキャンパスに美しい肖像画を描き出すように、そして、自らの思いや志を語ったり記したり、あるいは行動に表したりして、人々に伝え示すように、内なるものを相手に伝わるような形にして表現する力のことです。そうして、この力によって初めて、人は人につながっていくことができるのだと思います。

「創る力」とは、言葉やもの、音などを介して、人につながっていく力、人と人とをつなげる力と言い換えてもよいでしょう。世の中がどんなに変化しても、人は人とのつながりの中で生きていく生物です。だからこそ、「創る力」は、どんな世の中であっても、より豊かな社会を形成したり、人々の中で豊かな生き方を実現するための原動力だと信じています。

本校の教育の特色、本校に集う意欲あふれた生徒、高い指導力を有する教員集団、そして本校の教育を常に理解し、支えていただいている保護者や地域の方々という貴重な財産をさらに生かして、新入生の皆さんには、生涯にわたって豊かな生き方を実現するとともに、豊かな社会の形成者となるために必要とされる、この「創る力」を身につけることが、3年後の皆さんの目標です。

世界はますます複雑化、多様化し、人口問題、環境問題、民族問題、エネルギー問題など、国境を越えた様々な問題に翻弄され続けるでしょう。そんなグローバルな世界の中で、私たち一人一人が豊かに生きるためには、私たちが暮らす地域が豊かでなくてはなりません。

北海道は、澄んだ空気や水があり、広い土地や多彩な食べ物に恵まれた、まさに人々の希望の土地とも言える豊饒の地です。皆さんには、将来、本稿で身につける「創る力」を発揮し、北海道が世界の豊かさに資するローカルな地域となるよう、守り育てていく使命も託されています。

保護者の皆様、本稿では可能な限り一人一人の生徒に寄り添い、一人一人の生徒のよい資質を最大限に伸張させて参ります。しかし、なんと言っても、ご家庭での協力をいただきながら、ご家庭と学校とが一つになって生徒を育てていく力には及ぶべくもありません。どうか、折に触れ、生徒の思いや保護者の皆様の思いを学校にお話しいただくとともに、保護者の皆様にも、学校の諸活動にご参加いただいて、本校の教育の様子をご理解いただければ幸いに存じます。

最後に、本日、新入生の皆さんに贈った「おめでとう」の言葉が、3年後、本校で目指す「創る力」を全員が身につけ、一人一人がそれぞれの輝かしい自己実現を果たすべく卒業の日を迎えた日の「おめでとう」につながっていることを心より祈念し、式辞といたします。

平成30年4月9日

北海道札幌厚別高等学校長
生 田 仁 志